

大阪府退教情報

2023年12月22日

発行第46号

発行者:大阪府退職教職員連絡協
議会 代表:林誠子

〒543-0021 大阪市天王寺区東
高津町7-11 大阪教組気付

電話 06-6762-7999

虐殺やめろ！空爆やめろ！占領やめろ！封鎖をやめろ！今すぐやめろ！こどもを殺すな！こどもをまもれ！

STOP GENOCIDE! パレスチナに平和を

12.19 おおさか総がかり緊急集会 400人

寒風吹きすさぶ雨の中、集会・デモ

2月19日18時半から中之島公園女性像前で、総がかり行動実行委員会主催のイスラエルによるパレスチナ攻撃に反対する緊急集会が行われました。立憲4野党からの連帯の発言の中で、枚方市議の野村いくよさんから枚方市議会でパレスチナでの無差別虐殺に反対する決議(次ページ)が全会一致であげられたとの報告がありました。400人を超える集会参加者は、西梅田までデモ行進を行い**ガザでの戦闘行為と空爆の即時停止**を訴えました。(文責:富森和男)



ガザ支援府退教カンパ30万円、国境なき医師団へ

12月7日、府退教役員会で、ガザ支援カンパ支出先を検討し、日退教も支出先の一つとして挙げている国境なき医師団とすることを決定しました。国境なき医師団の活動は市民レベルでもよく知られていること、会員の中にもマンスリーカンパなどを続けているなど、報道などでも活動の様子を知ることができるということ等で決定し、12月8日に支出しました。10月のウクライナ支援カンパ30万円に続く国際カンパです。会員の皆様、各市・地域・高校当単会の皆様、ご協力ありがとうございました。

府退教は、今後もウクライナ、パレスチナなど国際紛争にも目を向け、この国際状況の中で、戦争はどの戦争であろうと圧倒的多数のこどもや市民が生きることを脅かされ続け、双方に多くの命が奪われている事実を直視し、平和への意志を様々な形で示し、共感の輪を広げていきたいと思えます。人道的支援のみならずそのような支援が不要となる停戦・和解・共存の道を積極的に本気で模索・提示するよう

日本政府と国際社会に強く求め続けなければなりません。そのような政治・政権を求め市民としての意思表示をしさざ波のように地域で大阪で、広げていく小さな役割を続けようではありませんか。

12.19 集会の壇上で司会やスピーカーを務めた市民団体・4立憲野党・主催者など9人中6人が女性でした。

立憲大阪の幹事長としてあいさつに立ったのは野村いくよ枚方市議。枚方市の議会決議は多くの地域での取り組みの在り方を示唆しました。集会に参加した男女会員から次のつぶやきがありました。「維新などさまざまな政党・会派の中で敵対視せず“全会一致”を実現された野村さんにご苦労さまです“といたい。」「壇上の女性たちのスピーチ、ぐっと来たね、ハートを感じる、よかったなあ。」「女の人、ガザ現地にいつてきはったんですな。凄いですやん。」「あと10年生きたら、様変わりする世の中を見られるかもしれん」など。イスラエルのネタニヤフ政権の天井のない壁の中にパレスチナの人々を閉じ込め、民族丸ごと虐殺する手法は、ホロコーストの虐殺を思い起こすのは、私だけだろうか。

ガザの人々は今雨季で冬。寒さと飢と爆撃の恐怖の中であろうと冷たい雨が思わせてくれました。

(文責：林誠子)

<参考>

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

パレスチナ自治区のガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との戦闘が始まり、2か月が経過しました。双方の応酬は、同地区において、人命を深刻な危機的状況にさらすとともに、市街地に甚大な被害をもたらしています。こうした状況を受け、我が国を含む先進7か国のG7外相会合は、「テロ攻撃を断固として非難し、全ての人質の即時解放を求める」とした上で、「同地区の人道危機に対処するため、戦闘の人道的休止と人道回廊の設置を支持する」旨の緊急声明を発表しました。本市は、全世界の平和と安全が人類共通の念願であるとする「非核平和都市宣言」を行っており、このたびの紛争に関しては、いかなる理由があろうとも、一般市民への攻撃と非人道的行為は正当化できないと言わざるを得ません。よって、本市議会は、これ以上人道危機が悪化しないよう、国際法に基づき、事態の早期鎮静化と人道状況の改善を図るとともに、一刻も早く紛争を終結することを求めるものです。以上、決議します。

令和5年12月8日

枚方市議会